

ひとづくり

第 10 号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 2016(平成28)年3月発行



全国高専プロコン自由部門で最優秀賞

10月11日～12日に、ホクト文化ホール(長野市)において開催された第26回全国高等専門学校プログラミングコンテスト(高専プロコン)自由部門において、小型船舶が安全に航海できるシステムを出品した本校学生チームが、最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞しました。

宇崎裕太君(5年)、瀬尾敦生君(5年)、肥田琢弥君(5年)、山本愛奈さん(5年)、井上香澄さん(2年)の5名が出品した「Smart AIS—海内の旗幟—」は、AIS(大型船で搭載が義務化されている近隣船舶間で情報交換を行う専用機器)などに代わり、誰でも持っているスマートフォンによる小型船舶を対象とした航海支援を行います。GPSで船舶位置情報を取得して衝突や座礁の危険検知、サーバを介した緊急事態の対応など、小型船舶で起こりがちな事故対策ができます。

四国地区高専総合文化祭で受賞多数の活躍



12月12日～13日、高知市内で開催された第37回四国地区高等専門学校総合文化祭に、本校より教職員および学生あわせて82人が参加しました。今年度は「若意志（わかいし）」をテーマとして掲げ、四国地区5高専6キャンパスの学生が一同に集い、吹奏楽や絵画等の35種目について、互いにパフォーマンスを披露・発表したり、競い合いました。

開会式や全体交歓会では、高知県で有名な「よさこい踊り」や太鼓による演奏が披露され、学生たちは大いに盛り上がりました。また、各高専の学生会が作成した動画等による学校紹介があり、参加者は各校の魅力を伺い知ることができました。他の各会場では、日頃学生たちがクラブ活動で創作した絵画や書道、パネル展示、英語によるプレゼンテーション、演劇等々多彩な催しがありました。学生たちは日頃接し得ない他高専の学生と交流することで貴重な体験を積む事ができ、場内は終始楽しい雰囲気に包まれました。

文化祭は2日間に渡って盛況で、閉会式では吹奏楽を含む6部門の表彰があったほか、フィナーレとして各高専の代表者が一斉に舞台に集い、活気に満ちた「よさこい踊り」を披露して無事閉会となりました。次回の開催は高松市で実施される予定です。

なお、情報工学科の表彰者は次の通りです。

【絵画】	優秀賞	情報工学科4年	ファティン・ヌワイラ・ビンティ・アズマリ
	佳作	情報工学科4年	仁井 萌香
【書道】	佳作	情報工学科5年	神崎 りさ
【英語スピーチ部門・自由弁論の部】	第4位	情報工学科4年	中山 颯

情報工学科教員が計測自動制御学会著述賞を受賞



専門書「制御工学—技術者のための理論・設計から実践まで—」を共同執筆した本校情報工学科の徳田誠准教授が、計測自動制御学会著述賞を受賞しました。本書は、平成22年～24年までの3年間実施された豊橋技術科学大学・高等専門学校教育連携プロジェクトにおいて、高専生が大学進学後も学習できる制御工学の教科書として出版されたものです。

受賞の理由として、本書が、多様な制御理論を幅広く紹介していること、制御の根本を理解できるように解説されていること、学んだ内容がどのように活かされるかを例題でイメージしやすく説かれていること、直流サーボモータの同じシステムを例題・演習問題にして、講義・学習の便宜を図るなど学習し易さの気遣いがなされていること、例題73題、演習問題105題が収録されていること、学生が引っかけりそうな所に細やかな註を設けて学習の助けとなるよう配慮されていることなどが挙げられます。また、著者らは、本教科書をもとに、授業資料や演習・試験問題などの共有化を図り、数学的に偏りがちな制御理論教育からハード、ソフト両面の制御系設計、制御系の実装など、制御工学教育の教授内容、方法の改善を図っています。

国立モンゴル科学技術大学で海外インターンシップ



8月18日～31日、モンゴルウランバートル市にある国立モンゴル科学技術大学・動力工学校、国立モンゴル科学技術大学・交通機械工学校において、本校の学生8名（情報工学科4年生4名ほか）が国際インターンシップに参加しました。

学生達は国際会議（International Conference on Global Science and Technology Convergence）に出席し、英語での学術発表の聴講や、大学の鉱石自然資源地質学博物館、モンゴル歴史博物館、チンギスハーン乗馬の像、寺院などを見学しました。また、インターンシップの研究テーマである「ウランバートルの大気中の粒子状物質の濃度の測定」、「ゲルに利用するストーブの排気ガスの測定」、「自動車エンジンの排気ガスの測定」等について実験を行いました。以下に、インターンシップ参加学生から寄せられた声をご紹介します。

<学生の感想>

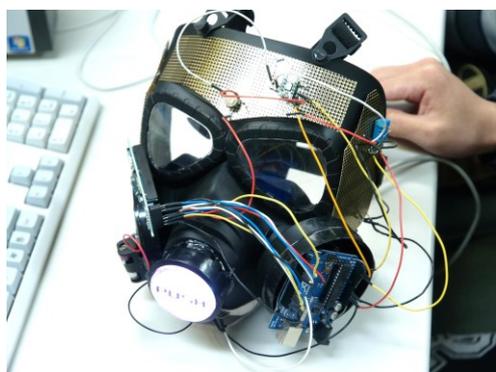
私は昨年の夏休みにインターンシップとして2週間モンゴルに行きました。モンゴルはあまり治安がいいとは言い難く、また大気汚染が大きな問題になっているということで、多少、心細くはありました。しかし、このチャンスを生かしてさらに国際理解を深め、また自分の視野を広げるために、不安を押してモンゴル行きを決めました。

モンゴルでの日々は文化や言語の違いで最初のうちは悩まされましたが、つたない英語を駆使してなんとか乗り切り、あっという間に2

週間が過ぎてしまいました。私とともにインターンシップに参加した友達の一人が、初めての海外に感動し、来年1年間オーストラリアに留学することを決めました。海外に行ったことがなければ、是非日本という殻を破って海外インターンシップに挑戦してもらいたいと、特に情報工学科の後輩に伝えたいです。

文：中山 颯（情報工学科4年生）

創造性実験の作品発表会を開催



2月10日、情報工学科4年生の情報工学実験において創造性実験発表会が開催されました。本発表会では、2～3人のグループに分かれ、マイコン（Arduino）と周辺機器を組み合わせて、学生の自由な発想で考案された作品を発表します。企画書の作成や部品の発注を含む作業を、限られた時間と予算の中でスケジュール管理をしながら進めていきます。本年度は、実用性やアイデアに優れた作品が多くみられました。参加した学生は、半年近くかけた作品のでき栄えを互いに評価し合い、充実した発表会となりました。

マイコン部が愛顔のえひめ文化・スポーツ賞を受賞



12月25日、愛媛県庁で行われた愛顔のえひめ知事表彰式において、本校マイコン部(情報工学科学生 X名)が、愛顔のえひめ文化・スポーツ賞を受賞しました。

本賞は、・・・

第3回情報工学科学生表彰を実施



情報工学科では、2年前から、1～4年生を対象に、顕著な成果をあげた学生を表彰する制度を設けて表彰しています。この賞は、

- ・成績や資格取得などの学業
- ・クラブ、学生会、ボランティア活動、異文化交流などの課外活動
- ・人格、授業や学校行事（特別活動、SHR、補習など）に取り組む姿勢

を総合的に評価し、他の学生の模範となる者に授与されます。今年度

の受賞は、次の通りです。

最優秀学生賞

井上 香澄（2年）：成績優秀／全国高専プログラミングコンテスト自由部門最優秀賞／ICT ビジネスモデル発見&発表会四国大会ネクストジェネレーション賞／キャンパスベンチャーグランプリ四国テクノロジー部門最優秀賞（四国経済産業局長賞，全国大会出場）

優秀学生賞

住廣 莉奈（1年）：成績優秀／級長（後期）

中山 嶺（2年）：成績優秀／英語検定2級

村上 陸（3年）：成績優秀

中山 颯（4年）：成績優秀／TOEIC 620点／四国高専英語スピーチコンテスト4位／全国5商船高専漕艇大会3位

カルビン（4年）：日本語のハンディキャップの中、成績優秀／TOEIC 985点／ボランティア活動（瀬戸内サイクリング大会誘導係）



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<http://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成23年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。